

報告書抄録

ふりがな	ほしがみねいせき							
書名	星ヶ峰遺跡							
シリーズ名	予防治山工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	辻川 哲朗・横田 洋三							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課				公益財団法人滋賀県文化財保護協会			
所在地	大津市京町四丁目1番1号				大津市瀬田南大萱町1732番2号			
発行年月日	平成27年（2015年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北 緯	東 経			
ほしがみねいせき 星ヶ峰遺跡	しがけん 滋賀県 がもうぐん 蒲生郡 りゅうおうちょう 竜王町 あどかがみ 字鏡	384	065	35° 05' 03"	136° 04' 42"	20140416 ～ 20140509	40㎡	予防治山 工事
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
星ヶ峰遺跡	生産遺跡 (須恵器窯)	古墳時代後期		須恵器窯灰原		須恵器・窯壁		
要 旨	<p>星ヶ峰遺跡は、鏡山窯跡群を構成する須恵器生産遺跡の一つである。鏡山窯跡群は、古代近江最大の須恵器生産拠点として周知されている。予防治山工事に伴う今回の発掘調査によって、以下の諸点が明らかとなった。</p> <p>①地滑りによって露呈した灰原の範囲を把握するために、調査区を設定し、調査を行った結果、南北約20m・東西約22mに灰原が広がる状況を確認した。</p> <p>②検出した灰原から1基の窯の存在が想定され、周辺地形等を検討した結果、調査区外に作業スペースと目される平坦面があり、さらにその上位側斜面に残る凹地状地形が窯本体に相当する可能性を指摘した。</p> <p>③灰原層内とその上位堆積層中から6世紀後葉～末葉頃の須恵器・窯壁片が多数出土した。</p>							